緊急・災害時要援護者台帳登録申請書

【登録者（本人）】

フリガナ		生年月日	明・大・昭・平・令
氏　名			年　　月　　日
住　所	芦屋市	性　別	男　・　女
本人を除く同居家族の人数	人	電　話	ー　　ー
		ＦＡＸ	ー　　ー

【状況】該当する状況に☑を付けてください。（複数可）

☐　６５歳以上のひとり暮らし ☐　６５歳以上のみの世帯 ☐　昼間６５歳以上のみの世帯 ☐　身体障害者手帳を所持　（　　級） ☐　療育手帳を所持　（　　） ☐　精神障害者保健福祉手帳を所持　（　　級） ☐　要介護認定を受けている （要介護度　　、認知症　有 ☐　） ☐　難　病　（　　） ☐　その他　（　　）	既往症・現疾病		
	かかりつけの病院	病院名	
		診療科	
		住　所	
		電話番号	
特記事項（特に配慮が必要なこと）			

【家族等の緊急連絡先】

1	フリガナ 氏　名		電　話	ー　　ー	登録者との続　柄	
	住　所					
2	フリガナ 氏　名		電　話	ー　　ー	登録者との続　柄	
	住　所					

【避難支援状況】該当する状況に☑をつけてください。

☐　Ａ　誰かの援助がないと、避難できない	→　裏面「個別避難計画」を含め、全て記入
☐　Ｂ　誰かの声かけがあれば、自分で避難できる	→　裏面「個別避難計画」を含め、全て記入
☐　Ｃ　自力、あるいは同居の家族の援助で避難できる	→　裏面「同意事項」以降を記入

民生委員・児童委員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

利用中の事業所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
※ケアマネジャーのいる事業所や相談支援事業所を記入してください

【問い合わせ先】　高齢介護課　３８－２０４４　／　障がい福祉課　３８－２０４３

＜裏面あり＞

個別避難計画（避難支援状況「Ａ」、「Ｂ」選択者のみ）

いざという時に自分自身でも命を守れるよう、必要な備えをし、避難行動等を決めておきましょう。

自身の情報を地域の支援者（自治会、自主防災会、民生委員・児童委員、福祉推進委員など）へ提供し、日ごろからの関係性を築くことで、災害による危険があるときに安否確認や避難支援を受けられる可能性が高くなります。
※災害の発生時刻や規模なども影響するため，必ずしも支援が受けられる訳ではないことをご了承ください。

【緊急・災害時に避難支援を行うことに了解を得られた方の情報（同居の方を除く）】

緊急・災害時に地域で避難支援をしてくれる人はいますか？　☐います（下を記入）　☐いません

支援者１	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名		電　話	ー　ー	登録者との関係
	住　所				
支援者２	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名		電　話	ー　ー	登録者との関係
	住　所				

【避難行動計画】

避難先	第１　　第２ ※防災情報マップ等を参考に、避難先（避難所、ホテル、親戚の家、自宅など）をご記入ください
避難情報の入手方法	☐防災ネット　☐テレビ　☐防災ラジオ　☐インターネット　☐家族・友人からの連絡 ☐その他（　　）
意思疎通の際の留意事項	☐特になし　☐筆談　☐手話　☐耳が聞こえにくい　☐日本語が読めない・話せない ☐避難指示の理解が難しいなど意思疎通が困難　☐その他（　　）
避難時に持ち出す医薬品・器具等	ないと生命維持に関わる、又は通常の生活が困難になる医薬品等をご記入ください　例）インスリン注射など
避難支援時の留意事項	☐　自力で歩くことができず、車いすを利用して移動することも難しい ☐　車いすを利用して移動する　（介助は必要　・　介助は不要） ☐　車いすは利用しないが、移動に介助が必要である ☐　特になし
その他留意事項	特別な配慮・注意が必要なことをご記入ください　例）パニックを起こしやすい、認知症の疑いがあるなど

【同意事項】よく読んで、署名してください。

1　申請書に記入した登録者の個人情報について、民生委員・児童委員が日ごろの見守り活動に活用し、芦屋市社会福祉協議会、芦屋市高齢者生活支援センター、芦屋市障がい者基幹相談支援センター、市の関係部署、消防本部、その他避難支援等に実際に携わる機関で市長が特に必要と認めた機関へ提供することに同意します。

2　避難支援に必要な登録者の個人情報（申請書にある項目の範囲内に限る）については、上記１の支援機関に加え、避難支援に携わる自治会、自主防災会、福祉推進委員などへ提供することに同意します。（前頁の避難支援状況区分が「Ａ」か「Ｂ」の選択者のみ）

3　申請書にある項目で、市が把握できる情報（市内転居先住所、要介護度等）は自動更新されることに同意します。

上記のとおり、緊急・災害時要援護者台帳登録を申請します。

年　　月　　日

芦屋市長宛

申請者氏名（本人又は代理人等）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　　所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　登録者との関係：＿＿＿＿＿＿＿＿

※記入いただいた個人情報は、見守り活動及び避難支援以外の目的には使用しません。